# 安全データシート



## １．化学品及び会社情報

| | |
|---|---|
| 化学品の名称 | ：クリンレディ　FRESH |
| SDS 整理番号 | ：SPS-ADCL-4122 |
| 供給者の会社名称 | ：旭化成アドバンス株式会社 |
| 住所 | ：〒105-0004<br>東京都港区新橋 6-17-21　住友不動産御成門駅前ビル |
| 担当部門 | ：樹脂化学品本部　第２事業部　化成品・樹脂部 |
| 電話番号 | ：０３－５４０４－５０４５ |
| FAX 番号 | ：０３－５４０４－５０５９ |
| 緊急連絡先 | ：樹脂化学品本部　第２事業部　品質保証管理室 |
| 電話番号　（平日・昼間） | ：０４４－２７１－２６３９ |
| （休日・夜間） | ：① 090-1030-7568 ② 090-2542-7477 ③ 090-8790-1244 |
| 推奨用途及び使用上の制限 | ：（推奨用途）　手洗い用洗浄剤<br>（使用上の制限）　16 項に記載 |

## ２．危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性　：なし

全ての項目が、分類対象外または区分外である

| | | |
|---|---|---|
| 健康有害性 | 急性毒性（経口） | ：区分 4 |
| | 眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性 | ：区分 1 |

上記以外の項目は、分類できないまたは区分外である

| | | |
|---|---|---|
| 環境有害性 | 水生環境有害性（急性有害性） | ：区分 3 |

上記以外の項目は、分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル　：

注意喚起語　：危険

危険有害性情報　：飲み込むと有害
重篤な眼の損傷
水生生物に有害

注意書き

安全対策　：この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
必要に応じて保護眼鏡を着用すること。

応急措置　：飲み込んだ場合、口をすすいだ後も気分が悪い時は、医師に連絡

すること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

保管　：温度の高い場所や直射日光の当たる所に長時間放置しない。

廃棄　：多量の場合は、免許を所持している専門業者へ処理を委託する。

## ３．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　：混合物

化学名又は一般名　：研磨材入り洗浄剤

| 成分 | 化学式 | CAS No | 含有量(wt%) | 官報公示整理番号 |
|---|---|---|---|---|
| 水 | $H_2O$ | 7732-18-5 | 非公開 | 備考参照 |
| ﾎﾟﾘｵｷｼｱﾙｷﾚﾝｱﾙｷﾙｴｰﾃﾙ | 非公開 | 非公開 | 非公開 | 非公開 |
| ポリエチレン | $-(CH_2-CH_2)_n-$ | 9002-88-4 | 非公開 | (6)-1 |
| 水溶性成分 | 非公開 | 非公開 | 非公開 | 非公開 |
| その他（保湿剤等） | 非公開 | 非公開 | 非公開 | 非公開 |

備考　：日本薬局方第 8 改正収載物質

## ４．応急措置

吸入した場合　：新鮮な空気のある場所に移し、その後回復しなければ医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　：使用中に赤み、はれ、かゆみ、刺激等の異常が現れたときは、使用を中止し、必要に応じて医師の診断を受ける。

眼に入った場合　：直ちに医師に連絡すると同時に、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合　：口をすすいだ後も気分が悪い時は、医師に連絡すること。

## ５．火災時の措置

消火剤　：初期火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消化剤を用いて空気を遮断する。

使ってはならない消火剤　：特になし

特有の危険有害性　：引火性はない

特有の消火方法　：関係者以外は安全な場所に退去させる。
危険なく実施できる場合は、火元の燃焼源を断つ。
消火は風上から行う。

消火を行う者の保護　：消火作業の際は、必ず適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を

着用する。

## ６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
：多量の場合、人を安全に退避させる。

環境に対する注意事項　：流出した大量の製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
：少量の場合は、ウェス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量の場合には、盛り土で囲って流出を防止し安全は場所に導いてから処理する。

二次災害の防止策　：付近の着火源となるものを取り除くとともに消化剤を準備する。

## ７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　：使用後は容器のキャップをきちんと閉める。

安全取扱注意事項　：手洗い以外に、身体や顔には使用しない。
傷、はれもの、湿疹等、異常のあるときは使用しない。

接触回避　：記載すべき情報なし

衛生対策　：特になし

保 管

安全な保管条件　：幼児の手の届かない場所で保管する。
温度の高い場所や直射日光の当たる所に長時間放置しない。

安全な容器包装材料　：記載すべき情報なし

## ８．ばく露防止及び保護措置

管理濃度　：設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会（2015 年版）
：非該当

ACGIH（2015 年版）　：非該当

設備対策　：特になし
ただし、小分け作業等で多量に扱う業者は換気を行う。

保護具

呼吸用保護具　：通常の取り扱いでは必要なし。

手の保護具　：通常の取り扱いでは必要なし。

眼の保護具　：通常の取り扱いでは必要なし。

皮膚及び身体の保護具　：通常の取り扱いでは必要なし。
ただし、小分け作業等で多量に扱う作業者は、必要に応じて保護手袋、保護眼鏡、保護服等を着用する。

## ９．物理的及び化学的性質

外観
　物理的状態　：液体
　色　：黄色から微黄色不透明
臭い　：わずかに臭いがある
pH　：7.5～8.5
沸点、初留点及び沸騰範囲　：100℃以上
引火点　：なし
爆発範囲
　下限　：情報なし
　上限　：情報なし
比重（相対密度）　：0.95～1.0g/$cm^3$　(25℃)
溶解度
　水　：可溶
　その他の溶媒　：エタノール等（研磨材を除く）
n-オクタノール／水分配係数　：情報なし

## １０．安定性及び反応性

安定性　：通常条件では、化学的に安定である。
危険有害反応可能性　：なし
避けるべき条件　：長時間にわたり、40℃以上おくと分離することがある。
混触危険物質　：情報なし
危険有害な分解生成物　：情報なし

## １１．有害性情報

急性毒性　（経口）　：（製品データ）混合物そのものの情報なし
「区分 4」に分類される成分を複数含む。
混合物としての毒性推定計算値は、加算式より
$ATE_{mix}$≒1,600 mg/L（＞300mg/L、≦2,000mg/L）
となるため　区分 4
なお、急性毒性が不明の成分は 1wt%未満である。
（成分データ）区分 4
ラット　$LD_{50}$＝200～2,000 mg/L

（経皮）　:（製品データ）区分外
ウサギ　$LD_{50}$≧5,000 mg/L
（吸入）　:（製品データ）十分なデータがないため、混合物としては　分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性　:（製品データ）区分外
[皮膚一次刺激性試験] *1)
ウサギ　24hr 貼付、3, 24, 48hr 後
スコア値（P.C.I.）＝0.67　（＜2.3）
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性
:（製品データ）混合物そのものの情報なし
「区分 1」に分類される成分を含み、その合計が 3wt%以上であるため　区分 1
（成分データ）区分 1
ラビット　眼に重度の障害を及ぼす危険性
（OECD ガイドライン 404）
呼吸器感作性　:（製品データ）十分なデータがないため、混合物としては　分類できない
皮膚感作性　:（製品データ）十分なデータがないため、混合物としては　分類できない
生殖細胞変異原性　:（製品データ）十分なデータがないため、混合物としては　分類できない
発がん性　:（製品データ）十分なデータがないため、混合物としては　分類できない
生殖毒性　:（製品データ）十分なデータがないため、混合物としては　分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）
:（製品データ）「分類できない」 成分を 1.0wt%以上含むため、混合物としては　分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）
:（製品データ）「分類できない」 成分を 1.0wt%以上含むため、混合物としては　分類できない
吸引性呼吸器有害性　:（製品データ）十分なデータがないため、混合物としては　分類できない
備考　:（成分データ）はﾎﾟﾘｵｷｼｱﾙｷﾚﾝｱﾙｷﾙｴｰﾃﾙの参考値

## １２．環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性（急性）　:（製品データ）混合物そのものの情報なし
混合物として毒性推定計算値は加算式より
$LC50_{mix}$≒55mg/L（>10mg/L, ≦100mg/L）
となり　区分 3
ただし、水生環境急性毒性が不明の成分を 10wt%未満含有する。
（成分データ）区分 3

| | | |
|---|---|---|
| | | $LC_{50}$:（藻類、72h） >10mg/L, ≦100mg/L |
| | | $EC_{50}$:（ﾐｼﾞﾝｺ、48h） >10mg/L, ≦100mg/L |
| 水生環境有害性（長期間） | :（製品データ） | 十分なデータがないため、混合物としては 分類できない<br>ただし、水生環境有害性が不明の成分を 10wt%未満含有する。 |
| 残留性・分解性 | :（製品データ） | $BOD_5$:5mg/L 以下（製品 0.1W/V%水溶液）[*1)] |
| | （成分データ） | 生分解性良好<br>除去率≧90% ﾋﾞｽﾏｽ活性化物質 （mod.OECD 301A）<br>除去率＞60% 理論値による $CO_2$ 発生量 （28 日）<br>（OECDﾃｽﾄｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ301B, ISO 9439, 92/69/EEC, C.4-C） |
| 生体蓄積性 | :（製品データ） | 情報なし |
| 土壌中の移動性 | :（製品データ） | 情報なし |
| オゾン層への有害性 | :（製品データ） | 分類できない<br>モントリオール議定書の付属書にあげられる物質は含まない |
| 備考 | :（成分データ）はﾎﾟﾘｵｷｼｱﾙｷﾚﾝｱﾙｷﾙｴｰﾃﾙの参考値 | |

## １３．廃棄上の注意

| | |
|---|---|
| 残余廃棄物 | ：漏出時の措置の他、多量の場合は、免許を所持している専門業者へ処理を委託する。 |
| 汚染容器及び包装 | ：空容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に処分する。 |

## １４．輸送上の注意

国際規制

| | |
|---|---|
| 国連番号 | ：非該当 |

国内規制

| | |
|---|---|
| 海上規制情報 | ：海洋汚染法、船舶安全法（危規則）に従う |
| 航空規制情報 | ：航空法に規定に従う |
| 陸上規制情報 | ：消防法の規定に従う |

輸送の特定の安全対策及び条件

：直射日光を避ける。高温体との接触を避ける。

| | |
|---|---|
| 緊急時応急措置指針番号 | ：非該当 |

## １５．適用法令

| | |
|---|---|
| 医薬品医療機器等法 | ：該当 |

# 安全データシート



## １６．その他の情報

本製品安全データシート（SDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。
本製品を推奨用途以外に使用したい場合は、仕様が用途に合致しない場合もありますので事前に弊社に相談してください。
また、弊社は、SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

引用文献

1) 自社データ

参考文献

GHS 分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
http://www.safe.nite.go.jp/ghs/ghs_index.html

# [会社情報]

販売者：東中国スズキ自動車(株)
所在地：倉敷市沖8-1
TEL:086-424-1211